

平成30年第2回定例会一般質問要旨

◎但木議員

1. 義務教育無償の原則から学校給食費の無料化について

今全国では給食費の完全無料化や、2人目半額、3人目無料などの形で保護者負担を軽減する自治体が徐々に増えてきています。

学校教育は戦後の食糧難の時代から今では食育という新たな役割が加わりました。

食教育という観点からも学校給食費の無料化について町の考え方をお伺いします。

2. 生活保護基準引き下げによる影響について

国は今年10月から生活保護基準の引き下げを行うとしています。

そのことによって起こる様々な制度への影響が懸念されます。

就学援助を受けている家庭への対応についてはこれまで通り変わらぬ対応ができるのかお伺いします。

平成30年第2回定例会一般質問要旨

◎高橋議員

1. 町の人口減少問題への対策について

過日3月31日、厚生労働省管轄機関により2045年（27年後）までの全国の地域別将来推計人口が発表されました。

それによると、北海道では179市町村すべてで減少、約半数の85市町村では半分以下の人口となり、我が町佐呂間もその中に入っていました。

昨今の社会情勢を鑑み、ある程度の人口減少は致し方ないとしても、推計とは言え人口が半分以下になるのに加え、高齢化率が50%を超え限界集落となる予想に衝撃を感じております。

そこで人口減少問題に関わる以下のことについて質問します。

- ① オホーツク管内の中でも高い当町の減少率ですが、その高い数字・要因などについてどのように捉えているのか伺います。
- ② これまでこの町に住んでいた方が離町に至る要因には様々あるでしょうが、それらの要因の中には、町として対策を行えば、離町を防ぐことが出来たものもあったのではないかと思います。
離町する方の中には、勤務地は佐呂間のままだが、住居は町外に構えて通勤している方などもいることから、離町を防ぎ定住につなげる、あるいは勤務地が町外の方に、この町に移住して頂くなどの策とするために、離町の要因の収集・分析が必要と考えておりますが、それらについてどのような考えをお持ちなのか伺います。
- ③ 人口減少は避けられないとしても、減少率を抑えることは可能と思われます。
住宅建設支援・子育て支援・商工業活性化・農業担い手育成など、この町には定住に繋がる様々な取り組みがあり有難い限りですが、減少率抑制に繋がるさらなる有効な策として、どのような考えをお持ちなのか伺います。
- ④ この将来推計人口は、今後進める第五期佐呂間町総合計画の策定に大きく影響するものと思います。
今後の町を維持していくために、時には大胆で思い切った発想・行動も必要ではと考えていることから、今後の施策の骨子・方向性としてどのように考えているのか伺います。

平成30年第2回定例会一般質問要旨

◎三田議員

1. 合同墓地の設置及び既存墓地の整備について

- ①町での管理の墓地と地域での管理の墓地があると思いますが、現状どのようになっているのか伺います。
- ②現在、自治体での合同の墓はまだ数少ないですが、少子化・高齢化にともない人口減になっていく中で、今後合同墓のようなものの設置を考えていくことも必要だと思いますが伺います。

2. コミセン・公民館の環境設備について

町民センターについては改修の際、大集会室にエアコンを設置しました。
猛暑が予測される中、若佐コミセン・浜佐呂間活性化センターや地域の公民館も利用者の多いところから、改修に合わせてエアコンの設置など、町民の利便性を考えると必要だと思いますが、どのように考えているのか伺います。